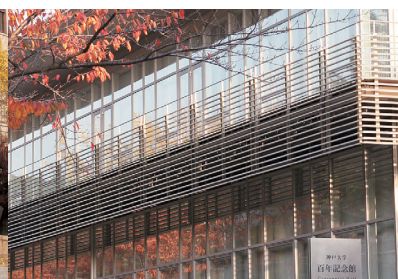




神戸大学

KOBE  
university

STYLE







# KOBE university STYLE

2006 Vol.6

## CONTENTS

02

Welcome to SOLAC

国際コミュニケーションセンターへようこそ

05

いざ海外へ!

07

Career Navigation

私の「就職活動」記

08

就職支援の取り組み

09

相談員から

10

神戸大学東京オフィス日誌

11

先輩からのメッセージ

12

インターンシップにチャレンジしよう!

13

大学院進学

14

保健管理センターだより

15

Campus Life

私の学び

17

教室から

19

主な出来事

20

神戸大学学友会から

21

百年史編集室だより 歴史のひとつま

※一部の誌面を、主に在学生・受験生を対象に編集したものと、主に保護者・卒業生を対象に編集したものとを組み替えています。この誌面は主に在学生・受験生を対象にしたものです。

## 国際コミュニケーションセンターへようこそ 目指せ! 世界の舞台へ 楽しく学ぼう外国語



大学生活、勉学に慣れたところで、本格的に外国語にチャレンジしてみませんか。

神戸大学は外国語習得のチャンスに恵まれています。

よし/やってみようという方、国際コミュニケーションセンター(SOLAC)に来てください。

お手伝いしたいと、外国語の達人の先生と留学生らが待っています。

### ランゲージ・ハブ室 留学生と語り合おう

SOLACの目玉の一つがランゲージ・ハブ室です。

ランゲージ・ハブ室では、英語、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、韓国語のネイティブスピーカーがteaching assistant (TA)として常駐して、カンパセーション・パートナーを務めてくれます。学習法や留学について外国語担当の先生に質問をしたり、アドバイスを受けたりすることもできます。またビデオやDVDを視聴し、コンピュータを使って好きな外国語を自習することもできます。

気軽に足を運び、くつろいだ雰囲気の中で先生や留学生とおしゃべりしてください。臆せず外国語に慣れるのがはじめての一步です。そして、留学生の日本語の先生にもなってください。

ランゲージ・ハブ室がどんなところか、トリストラン・ブリュネさんに案内してもらいましょう!

ブリュネさんはフランス人で、大学院総合人間科学研究科で学びながら週一回、TAを務めています。

#### ——トリストラン・ブリュネさん

TAとしての私たちの役割は、学生の皆さんを迎え入れて、皆さんが望む言語で会話をしたり、私たちの母国の言語や文化につ

いての質問に答えたりすることです。時にはゲームをしたりして会話を弾みをつけ、なごやかな雰囲気のなか、学生の皆さんがくつろいだ気分で外国語を学ぶことができるようにしています。

でも、なかなか緊張をとくことができず、外国語を話すことに恐れを抱きつづけている人も多いようです。失敗を積み重ねることによって、はじめて外国の言語や文化を身につけることができるので



す。むつかしく考えないでください。地平線の彼方からやって来た学生たちと話し合う出会いの場なのです。

外国人学生にとっても、日本人学生と出会い、お互いの文化について議論をすることができる場です。お互いが抱いていた先入観と現実を比較したり、お互いの文化の特徴を楽しく語り合ったりできます。惑星地球の市民という私たちの役割を担っていくうえでも優れた手立てです。私も気持ちのよい、善意に満ちた皆さんに出会うことができ、うれしいです。日本のナショナリズムの形態と母国フランスのそれとの比較を目的に研究している私にとって、さまざまなテーマについて日本の皆さんと議論できることが、私の日本での経験を驚くほど豊かにしてくれます。

ハブ室はあらゆる種類の活動が可能となるような設備を備えています。たとえば、ゲーム、映画鑑賞、雑誌の閲覧などです。なごやかに楽しい環境で外国語を使いながら語学レベルの向上が図れるよう、学生一人ひとりに対して最良の学習条件を提供するためには、いつでもハブ室が自由に使えるということがもっとも重要な点だと考えています。



森重 萌木子さん 海事科学部

利用者の声



5月に初めてハブ室に入った時、みんなが楽しそうに英語で話しているのを見て、手軽に英語を学ぶのにいい環境だなあと感じました。先生と生徒の関係ではなく自由に、また普通に話せるのがいいですね。とても充実した時間がすごせるので、休み時間や放課後によく利用しています。

将来、海にかかわる仕事に就きたいので英語力を高めたいのです。英語力のほかにも、さまざまな国の先生や留学生、いくつもの学部の学生がいるので、ここにいるとコミュニケーション力も上がり、価値観も広がります。すこしでも英語に興味のある方、ぜひ一度足を運んでみてください。

利用者の声

間瀬 智さん 経済学部

アメリカイギリスでMBA(経営学修士)の資格を取りたいので、私には英語力は必須です。ハブ室に来るのは平均して週3回ぐらいです。ほんと面白いです。留学生も、英語に関してはネイティブでない人が多く、いろいろな英語をゆっくり話せるのがいい。英会話の初心者でも安心して会話に参加できます。「早く英語をものにして、もっと会話を楽しみたい」と思わせる力がハブ室にはあります。



ハブ室で得られるものは会話力だけではありません。異文化に接し、自分の視野を広げることもハブ室では可能です。自分の世界を広げに参加してみたいはいかがですか。

利用者の声

小笠原 淳さん 文学部

高校を出てから北京語言大学に留学して卒業しました。現代中国文学の翻訳の道に進みたいと考えています。

私の中国語学習のテーマは「いかにして中国人の発声に近づくか」です。私にとって、確かに難しい課題です。習慣化された母国語を乗り越えるようにして他国語を話そうとすると、相当意識的に取り組む必要があります。なにより実践です。ハブ室は実践のための貴重な空間なのです。週3回かな、中国語のTAがいるときはほとんど来ています。中国語のTAと話せば話すほど、私の言葉が本来の中国語に近づいていくことを実感していくはずですよ。



CALL教室 コンピュータを使って外国語を学ぼう

SOLACにはCALL教室もあります。CALLはComputer Assisted Language Learningの略で、コンピュータを利用した言語学習支援システムを意味します。コンピュータを通してマルチメディア教材の使用が容易になり、五感全体を使ったトレーニングが可能になります。

CALL教室には現在100台のコンピュータ端末を揃えています。自分の好きな時間を選んで、自分にあったレベルから学習を始められるのもCALLの魅力です。自分から進んで学ぶ外国語は意外と身につくものです。教室の外でのさまざまな活動にチャレンジしてください。



利用者の声

高吉倫史さん 医学部

CALL教室にはまわりに人がいることからくる授業のような緊張感があり、逆に自宅で自学自習しているように自分のレベルに合わせた学習や、自分の苦手なところを自分のペースに合わせて繰り返し学習ができることから、優れた場所だと思います。

また、自分の学習した記録が一目瞭然と見て取れ、毎回学習を積み重ねていくことによって進捗率が徐々に100パーセントに近づいていくのが分かり、達成感・充実感が学習を楽しくさせてくれます。

CALL教室にある教材

外国語	教材
英語	<ul style="list-style-type: none"> <li>●Internet Navigware:                             <ul style="list-style-type: none"> <li>TOEIC Test 730点対策コース</li> <li>TOEIC Test 470点対策コース</li> <li>TOEIC Test 実力判定テスト</li> <li>TOEIC Test 600点対策コース</li> <li>TOEIC Test リスニング対策コース</li> <li>eスタディ TOEIC®テスト                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>弱点診断付き リーディング730点</li> <li>eスタディ TOEIC®テスト   <ul style="list-style-type: none"> <li>弱点診断付き リスニング730点</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>●ALC NetAcademy: リーディング、リスニング教材</li> <li>●えいご漬け: ディクテーション、リスニングソフト</li> </ul> </li> </ul>
ドイツ語 フランス語	Tell Me More! シリーズ: 音声認識つき
中国語	Dig中国語学習システム: 音声、発音、文法、読解



## 仕事で英語が使える日本人の育成に向けて

### 現代GP「PEPコース導入による先進的英語教育改革」の取り組み

#### 現代GPとは？

「現代的教育ニーズ取組支援プログラム(現代GP)」とは、全国の大学の模範となる優れた教育プログラムを選定し、援助を行う文部科学省の新制度です。平成17年度には、国際コミュニケーションセンター(SOLAC)が中心となって提出したプロジェクト「PEP(Professional English Presentation)コース導入による先進的英語教育改革」が採択されました。国立大学法人による全学英語教育対象の取り組みとして全国で唯一のものです。

#### 仕事で使える英語力

現代GPは「仕事で使える英語力」の養成を目指しています。「英語力」の定義は難しいですが、SOLACでは「仕事で使える英語力」の基礎をプロフェッショナル・イングリッシュ・プレゼンテーション(PEP)能力と位置づけました。

学術分野であれ、ビジネス分野であれ、英語プレゼンテーションの重要性は広く認識されていますが、国内の大学では本格的な指導がほとんどなされていません。PEPプロジェクトは、日本の大学英語教育改革のモデルケースとしても注目されています。

#### 指導の中身は？

全学共通授業科目として、2年生の後期に3つの特別クラス(PEP1~3)を新設します。これらは選抜制で、受講基礎要件としてTOEIC®で650点が必要です。

PEP1では、「what to say」(コンテンツ)、「how to say」(デリバリー)の両面にわたり、プレゼンテーションの基礎理論を講義形式で指導します。PEP2では、国内合宿を実施し、プレゼンテーションの実践・評価・修正のプロセスを徹底的に反復します。PEP3では

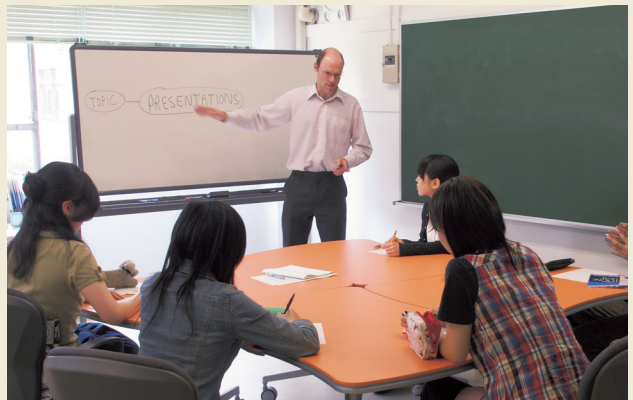
SOLACと提携しているオーストラリアのメルボルン大学で3週間の特別研修を実施します。学生が実際に会議を設営・運営し、発表するon the job training方式のトレーニングが目玉です。

PEPの授業では、神戸大学の教授陣と、ネイティブのプレゼンテーション・インストラクター、それに海外ビジネス経験を豊富にもつ神戸大のOBがチームを組んで指導に当たります。それぞれの持ち味をいかした効果的な指導が期待されます。

#### 神戸大から新しい英語教育の風を

PEPコースは平成19年度より始まります。準備段階としてすでに展開しているプレPEPコースには全学から500人の参加があり、PEPコースにも定員を上回る申し込みがあります。PEPを起爆剤として、神戸発の新しい英語教育の風を起こせればと関係者一同願っています。ウェブサイトもご覧ください。

<http://solac.cla.kobe-u.ac.jp/GP/index.html>



## Let's try and enjoy!

### 英語プレゼンテーションセミナーに参加して



川崎 美佳さん  
経営学部

このままでは駄目だ、というのが最初にRobert先生の話を聞いた時の素直な思いでした。先生の話している内容が全く理解できず、何を言っているのかさっぱり理解できない。あと3回も英語だけの授業を受けられるのだろうか……と不安になりました。

こんな私ですが、今回プレPEPコースの英語プレゼンテーションセミナーを受けて良かった点、もう少し改善してほしい点を書いていきたいと思います。

まず良かったと思うことは、今までは受験のためだけに勉強し

てきた英語を自分の話したいこと、言いたいことのために使うという本来のコミュニケーションの手段として活用する機会が持てたということです。また、同じ時間帯のほかの受講者がどんな話題について発表してくれるのだろうかということも毎週の楽しみでした。

改善してほしい点は、受講期間と1回の授業時間が短く、深く掘り下げた内容の指導を受けられなかったということ、先生の指導が全て英語だったため詳しい質問ができなかったことです。

この英語プレゼンテーションセミナーで最も痛感したのは、できるかできないかではなく、「自分からやる」ことが大事だ、ということでした。

今回のセミナーはこの「自分でやる」ということを啓発する段階の試みだったと思うので、これからもPEPコースや現代GPプロジェクトのさまざまな行事に参加したいと思います。



# いざ 海外へ!

## 留学の勧め

神戸大学は国際交流推進本部のもと戦略的な国際的活動を推進しています。そのひとつとして、海外から積極的に留学生を受け入れるとともに、学生にも海外で学ぶ機会を提供しています。外国の優れた環境のなかで勉学・研究をより深めるとともに、異なった文化のなかで貴重な体験を積んでほしいからです。

### 海外への3つの道

神戸大学の学生が海外の大学で学ぶにはいくつかの道があります。

ひとつは学術交流協定を結んでいる大学へ留学する方法で、授業料は免除され、取得した単位は互換されます。

現在、神戸大学が大学全体で協定を結んでいる大学・教育研究機関は68機関あります。さらに学部・研究科などが独自に108機関と協定を結んでいます。いずれも平成18年7月1日現在のデータで、詳しくはホームページ<http://www.kobe-u.ac.jp/international/affiliated.htm>を参照してください。

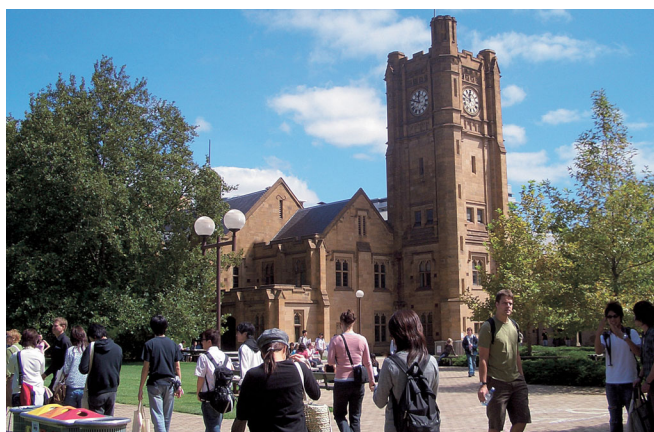
実際に神戸大学生が大学間協定に基づいて留学している大学は50余りです。国際部留学生課か学部の教務係で確認してください。ここ数年、30～50人が、平成17年度では45人がこの制度を利用して海外に出ました。

語学留学も含めて独自に私費で出かける人も、大学として正確な数はつかみ切ってはいませんが、かなりいるようです。留学したいが、手続きをどう進めればよいのか、よく分からないという人には、留学生センターで相談を受け付けています。河合成雄助教授が担当しています。

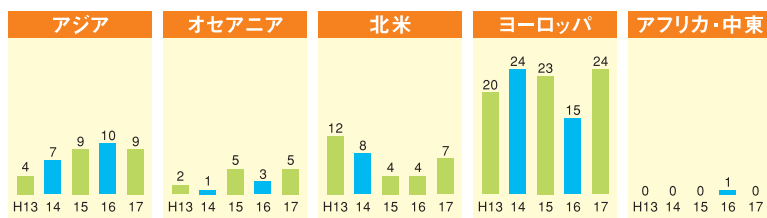
相談時間	
月曜日	10:30～12:00(留学生センター情報資料室)
火曜日	10:30～12:00/13:30～15:00(留学生センター留学生相談室)
金曜日	13:30～15:00(留学生センター情報資料室)

留学生センターのホームページ<http://www.kobe-u.ac.jp/%7Ekisc/default.HTM>には、留学に関する案内が詳しく掲載されています。ご覧ください。

そして、国際コミュニケーションセンター(SOLAC)が進める海外語学研修も、ひとつの方法です。



■大学間学術交流協定に基づく派遣学生数  
(平成13年～17年 単位:人)



■海外からの留学生数  
(平成18年5月1日現在 単位:人)

アジア	オセアニア	ヨーロッパ	北米
国費: 194 私費: 616 合計: 810	国費: 12 私費: 4 合計: 16	国費: 32 私費: 31 合計: 63	国費: 2 私費: 12 合計: 14
中南米	中東	アフリカ	総計
国費: 15 私費: 7 合計: 22	国費: 13 私費: 4 合計: 17	国費: 7 私費: 5 合計: 12	国費: 275 私費: 679 合計: 954



## 研修先は5か国に

SOLACでは、英語、ドイツ語、フランス語、中国語の語学研修プログラムを用意しています。

英語は平成15年度からオーストラリアのメルボルン大学で、また17年度からは米国ワシントン大学で研修を開始しました。中国語は16年度から北京外国語大学での研修を実施しています。そして18年度からはオーストリアのグラーツ大学でドイツ語の研修を、またフランスのフランシュ・コンテ大学でフランス語の研修を始めました。

いずれも担当教員が引率し、夏休み中の3~4週間滞在して言葉や文化を学びます。参加者たちの声を聞いてみましょう。

### 海外研修 メルボルン 大学

仁科 友見さん 国際文化学部

今年の春、私は3週間、オーストラリアのメルボルンに語学研修に行きました。メルボルンのシティーは、芸術的な現代建築物と教会などの歴史を感じさせる建物が立ち並び、さまざまな人種の人が行き交う、とても綺麗な街でした。また、街で出会う人も親切で、道を尋ねたりしても、とても丁寧に教えてくれることに驚かされました。

3週間の語学研修中、平日は毎日メルボルン大学に通いオーストラリア人の先生の授業を受けました。授業といっても、机に向かって書き取るというようなものではなく、英語を向上させながら、オーストラリアの国や文化についても学ぶというものでした。授業の半分は課外活動で、オーストラリアの国家を歌うことも、人気スポーツのクリケットとフットボールをすることもありました。休日にはおしゃれなストリートを歩き回り、珍しい飲食店に入ったり、マーケットに行ったりと、普段



日本ではできないようなことがたくさん体験できました。

滞在中はメルボルン郊外の住宅地でホームステイをさせていただきました。私のホストは70代の老夫婦(写真)で、のんびりとした暮らしをしていました。ホームステイがこの研修の中で最も英語を学べる場であったと思います。授業の時はほかの神戸大学生がいますが、ホストの家に帰ってくると日本語は全く通じません。自分でどうにかしなくてはいけない状態だからこそ、英会話能力も精神力も成長したと思います。また、毎食後のティータイムをとることや、変わった食器の洗い方をするなど、オーストラリアの人の暮らしを体験できたことも大きな喜びでした。

思い出の一つにブッシュキャンプがあります。山の頂上に登っても人工の光が見えないほど山奥で、昼は青空の下、夜は流れ星も見える星空の下、大自然の中でこれ以上ないというほどのんびりとした時間を過ごしました。

日本を離れた異文化の中での研修により、考えさせられることも多くあり、そこで得たことは今の私の学生生活に大きく影響していると思います。

### 海外研修 ワシントン 大学

大田 今日子さん 国際文化学部

シアトルに行って一番驚いたことは、町の人がとても親切でフレンドリーだということです。質問すれば、私のたどたどしい英語を分かるまで聞いてくれ、私が理解できるまで何度も説明してくれました。また、バスの中や道端で、全く知らない人が“where are you from?”と話しかけてきて、そのまま話をしたりもしました。外国人を狙った犯罪目的じゃないかと警戒しながらでしたが……。

シアトルは自然が多く、人もせかせかしてなくて、日本よりゆったりした感じのリラックスできる場所でした。また、夏は日が落ちるのが遅く、夜8時くらいまで明るくて不思議な感じでした。食事でも少し日本のものと味が違ったりしますがTERIYAKIやSUSHIなどの日本食も食べることができます。またシアトルのダウンタウンの夜景は本当に綺麗です！ 大学も建物がとても立派で、緑が多く、リスが出たりします。まわりにも飲食店や古着屋さんがたくさんあり買い物を楽しめます。

語学研修には本当に満足していますが、もっと自分から現地の人に話しかけるべきだったというのが唯一の心残りです。私は自分の英語の自信のなさから現地の人に質問するのがなかなかできず、自分より英語が上手な友だちに頼んだりしていました。幸い、ホストファミリーがいつも家で話しかけてくれたので、会話の練習はたくさんできましたが、どのホストファミリーもそうだとは限らないようです。シアトルの人は本当に親切なので、話しかけられるのを待つのではなく、積極的に話しかけてみてください。

シアトルでは本当にたくさんのいい思い出ができて、その思い出が帰国してからもっと英語の勉強をしようという意欲につながると思います。また、去年研修に参加したメンバー(写真、後列左端が私)は本当に仲良くなって、今でも集まったりします。たくさんのいい思い出と友だちをシアトルでつくっててください！





## 私の「就職活動」記

国際文化学部 山下 倫子



秋になると、3年生の就職活動も本格化します。  
内定にこぎつけるまで、期待と不安、自己嫌悪……、  
さまざまな気持ちが交錯することでしょう。  
先輩たちはどんなふうに考え、思いながら会社回りを続けていたのか。  
国際文化学部の山下倫子さんに書いてもらいました。

### 半年間のイベントにとどまらない就職活動

私が就職活動を意識し始めたのは、イギリス留学から帰国し復学した2005年10月でした。それから就職活動を終えるまでの約半年を思い返してみると、肉体的・精神的につらいこともありましたが、真剣に自分自身と向き合い、さまざまな人と出会って切磋琢磨し、大きく成長することができたと感じています。就職活動が本格化してから内定をいただくまでの半年間を振り返ってみました。

#### ■2005年10月～11月

就職サイトを通じてプレエントリーを始める。  
この時点ではあまり業種を絞らず、最終的に約80社にプレエントリー。  
留学中にツーリズムを勉強していたこと、高校時代から漠然と関心があったことから、航空・旅行業界を第一志望に考える。

#### ■2005年12月～2006年1月

プレエントリーした企業のセミナーや合同企業説明会、学内セミナーに積極的に参加。  
自分の性格、長所と短所、将来の夢などについて考えをまとめる。  
いわゆる自己分析。  
3年生の後期の授業で途上国援助に関する授業を履修したこと、ある総合商社の1dayインターンシップに参加したことから、総合商社に関心を持つ。

#### ■2006年2月

プレエントリーした企業のセミナーと並行し、エントリーシートを書き始める。  
会社説明会も増え始める。  
社員との懇談の場やグループワークの時間を設けたセミナーに参加し、その企業ではどんな人々が働いているのか、どんな仕事ができるのかを具体的にイメージする。  
海外に積極的に進出している電機・自動車メーカー、海外との接点が多い海運業界にも興味を持つ。

#### ■2006年3月

前半…数社のグループディスカッションやグループ面接を経験するとともに、メーカーのエントリーシート・webテストに追われる。  
後半…面接に加え、リクレーター面談やOB訪問をする。  
練習も兼ねて、志望度の高くない企業の選考を受けるがうまくいかず、不安と焦りを覚える。特に、最終面接前で2社落ち、精神的に落ち込む日々が続く。やる気が出ないうえに体調を崩し、選考を欠席した企業もある。  
エントリーシートの可否結果が次々と送られてくる。志望度の高い企業のほとんどが合格だったため、再びやる気が起きる。

この時点で、志望業界を総合商社、電機・自動車メーカー、航空、海運に絞る。

#### ■2006年4月

- 1～3日…総合商社の筆記試験とメーカー、航空会社の一次面接（1社は東京での面接）が重なるなど、一気に忙しさが増す。
- 4～9日…毎日面接に追われ、1日3社の面接をこなすことも。
- 10日…総合商社最終面接。
- 11日…東京で外資系化粧品メーカーの最終選考を受ける。この頃から東京で選考を受ける機会が増える。
- 12～16日…東京と大阪を往復しながら面接を受ける。
- 17日…航空会社三次面接。
- 18日…自動車メーカーの最終面接。総合商社から内々定をいただく。
- 19日…別の自動車メーカーの最終面接を受け、当日の夜に内々定をいただく。航空会社から最終面接の案内をいただくが辞退。総合商社に傾きかけていた気持ちが揺らぎ始め、一年早く就職活動を終えた友人や親、先輩に相談。
- 20日…総合商社に気持ちが固まりつつあるなか、大学の就職支援室の方に相談。外資系化粧品メーカーから内々定をいただくが辞退。
- 21日…入社を意志を固め、総合商社の人事の方に挨拶にうかがう。自動車メーカーの内々定を辞退。

このように、自分の就職活動を振り返って気づいたことは、「就職活動はたった半年間のイベントではない」ということです。進路について相談してくる後輩たちの多くは、就職活動というと、「エントリーシートや面接などの課題を半年間にこなして内定を勝ち取る」といったイメージを持っています。たしかに就職活動が本格化するのには大学3年生の後期からですが、実際には、大学で履修した授業や留学経験、クラブ活動、アルバイトなど、大学生生活全般での経験が進路に対する考え方に大きく影響します。

私の場合、留学中に多様なバックグラウンドを持つ人々と交流したことで、「グローバルなフィールドで仕事がしたい」という思いが強まり、「海外との接点」が企業選びの最大のポイントとなりました。また、総合商社に興味を持つきっかけとなったのは、3年生の後期に履修した途上国援助に関する授業でした。このように何かに関心を持って取り組み、積極的に行動することが、自分の進路を選択する際に大きなヒントを与えてくれます。

これから就職活動を始めるみなさん、あるいは進路についてまだ意識することの少ない1・2年生や神戸大学を受験しようと考えているみなさんには、さまざまなことに関心を持って多くの知識を吸収するとともに、何かに積極的に打ち込むという姿勢を忘れないでほしいと思います。



# 就職支援の取り組み

## ● 就職支援室の案内

学務部就職支援室は、学生センター（鶴甲第1キャンパス、国際文化学部A棟）内にあります。いつでも気軽に就職支援室を訪ねてください。

### ① 就職情報などの提供

各種就職情報誌（会社総鑑、会社年鑑、会社四季報など）、本、リーフレット、会社案内、求人票、正課外のインターンシップ関係資料などを閲覧することができます。また、備え付けのパソコン5台で就職関連情報を検索することができます。

### ② 就職相談の対応

民間企業などに勤めた経験があり、専門知識も豊富な「就職相談員」が、個別に皆さんのあらゆる相談に応じています。相談時間は、休業日を除く毎日の午後1時から5時までです。ただし、春季休業日については、平常どおり対応しています。また、2月中に限り、対応時間を午前10時から午後5時まで（正午から午後1時までは休憩）となっています。予約の必要はありませんが、順番待ちをお願いする場合があります。

## ● 就職ガイダンスの開催

就職支援室では、全学の学部3年生・大学院博士課程前期（修士）課程1年生を対象に、年間20数回開いています。なお、新入生とその父母らを対象にしたキャリアガイダンス（4月）、学部3年生などが対象のインターンシップフォーラム（6月）も、この就職ガイダンスの一環として行っています。

## ● 就職関係冊子などの刊行

就職支援室では、リーフレット『就職活動スタート』、冊子『就職ガイドブック』を刊行し、就職活動を始めようとする学生に配付しています。

## ● 就職関係HPの案内

神戸大学のHPの「教育・キャンパスライフ・就職」→「就職・進学」のページには、各種案内、データなど就職関連の情報を掲載しています。この中には、就職支援室で受け付けた求人情報（企業名・業種のみ）を「企業・公務員等求人一覧」に掲載しています。また、「インターンシップ情報」のページには、インターンシップ関連の情報を掲載しています。

なを、求人情報の詳細を知りたい時は、就職支援室で求人関係書類を閲覧することができます。

就職に関するURLは

<http://www.kobe-u.ac.jp/campuslife/employment/index.htm>

神戸大学生協のホームページの「キャリア形成支援 page」には、各機関が行うイベントなど全学の就職支援情報が掲載されています。URLは

<http://seagull.coop.kobe-u.ac.jp/recruit/>

インターンシップに関するURLは

<http://www.kobe-u.ac.jp/campuslife/employment/internship.htm>

## ● 各部局での就職支援の取り組み

多くの部局には就職に関する委員会があります。また、発達科学部キャリアサポートセンター、国際文化学部キャリアデザインセンター、六甲台就職情報センター（法学部・経済学部・経営学部・国際協力研究科）のほか、部局ごとに就職支援室、就職情報室、学生支援室、進路相談室などが設置され、就職関係情報の提供や就

職ガイダンス（セミナー）が開催されています。発達科学部と六甲台の各センターには、相談員が配置されています。

神戸大学生協、学生による就職支援組織、各学部同窓会などでも、就職セミナーの開催など多彩な就職支援の取り組みを展開しています。

## ● 各部局、学内外の就職支援関係機関などとの連携

就職支援室、各部局の就職関係委員会・事務、発達科学部キャリアサポートセンター、六甲台就職情報センター、大学生協、学生による就職支援組織、東京オフィス、学部同窓会の連合組織の学友会、各学部同窓会、OB・OG、各情報会社などの間で、情報交換を行いながら、ネットワークを強化しています。また、就職ガイダンス（セミナー）の開催に当たっては、就職支援室、各機関が相互に連携あるいは協賛しあって実施しています。



## 平成18年度全学就職ガイダンス実施計画（10月以降分）

区分	日時	開催場所（予定）	内容等
第8回	10月4日（水） 17:00～18:30	神大会館六甲ホール	民間企業就職希望者対象 講演：劇的内在術
第9回	10月11日（水） 14:00～16:00	神大会館六甲ホール 文・社系学生対象	民間企業就職希望者対象 「先輩が伝授する“神大生が今すべきこと”」
第10回	10月11日（水） 17:00～19:00	神大会館六甲ホール 理系学生対象	民間企業就職希望者対象 「先輩が伝授する“神大生が今すべきこと”」
第11回	10月23日（月） 13:00～18:00	神大会館六甲ホール	民間企業就職希望者対象 「神大生のためのキャリアセミナー」
第12回	10月25日（水） 14:00～16:00	神大会館六甲ホール （文・社系系対象）	民間企業就職希望者対象 講演：エントリーシートへの書き方
第13回	10月25日（水） 17:00～19:00	神大会館六甲ホール （理系系対象）	民間企業就職希望者対象 講演：エントリーシートへの書き方
第14回	11月8日（水） 13:30～18:30	神大会館六甲ホール	公務員・企業等就職希望者対象 講演：人事院、国立大学法人近畿、兵庫県、大阪府、神戸市等（参加官庁は予定）
第15回	11月中旬頃 13:30～18:00	鶴甲第1キャンパス 大学教育推進機構 B棟 教室	公務員就職希望者対象 国家公務員I種（行政）官庁業務説明会
第16回	11月27日（月） 15:15～16:45	神大会館六甲ホール	民間企業就職希望者対象 講演：面接指導（模擬面接）
第17回	12月6日（水） 14:00～16:00	神大会館六甲ホール 文・社系学生対象	民間企業就職希望者対象 “一歩進んだ就職活動”
第18回	12月6日（水） 17:00～19:00	神大会館六甲ホール 理系学生対象	民間企業就職希望者対象 “一歩進んだ就職活動”
第19回	12月12日（火） 12月13日（水） 12月14日（木） 10:30～18:00	神大会館六甲ホール	民間企業就職希望者対象 「業種・業界をテーマにしたミニセミナー」
第20回	2月15日（木） 10:00～17:00	鶴甲第1キャンパス 大学教育推進機構 K棟教室（予定）	民間企業等就職希望者対象 企業の求める人材等について
第21回	2月16日（金） 10:00～17:00		
第22回	2月19日（月） 10:00～17:00		
第23回	2月20日（火） 10:00～17:00		
第24回	2月21日（水） 10:00～17:00		
第25回	2月22日（木） 10:00～17:00		

主催：神戸大学学務部 共催：神戸大学生協  
協賛：国際文化学部CDC、理学部就職委員会、農学部就職委員会

# 相談員から



学務部就職支援室  
就職相談員 今崎 良平さん

キャンパスには、学生たちの将来の夢と活力が満ち溢れています。七色に輝く夢がすこしでも叶えられるように、そして個々の能力や感性が宝石のように磨きを増して成長しながら社会貢献できるようにと願いつつ、私たち就職相談員は適切なアドバイスができるように努力しているのです。

企業でもまた官公庁でも、大切な人員を採用するための方針や方法は、国際情勢や社会経済動向を背景として採用する側の性格や現在の状況、また将来的なビジョンなどが複雑に絡んで反映しているので、就職試験は学生にとって決して単純明快なものではないはずです。

自己分析をしてキャリアデザインを描き、応募先を選定してインターンシップを考える、そして時期を見てエントリーシートを準備し、筆

記や面接対応を練るという一連の活動には、これまでの学校受験で筆記中心の点数勝負しか経験していない学生にとって面食らうことも多いと思います。

一方では、昨今就職活動に関する情報が溢れ、書物やインターネット、また各種のガイダンスなどでいろいろな知識を得ることができます。それだけに、学生は特定の事柄についてもっと詳しく知りたい、また新たな疑問や迷い悩みが湧いてきて、個別に相談したいことが出てくるのは当然でしょう。最近相談件数が増えて、その内容も広く深くなってきています。そして私たち相談員は、そのニーズに応えていく態勢をとっています。

就職活動は、学生と応募先とのマッチングの問題ですから、学生にとって敗退や負け組なんて本来ないはずですが、たまたまうまくいかなかったり、あせったり消極的になったりせず、ライフプランを考え直して、これまでの就職活動を見直してみれば、きっと再挑戦のチャンスが出てきて、自分の進むべき道が開けると思います。

六甲台就職情報センター  
相談員 浅井 長久さん



開所以来約1年半、社会科学系の学部生・大学院生を主な対象に、就職活動およびインターンシップ応募に関する相談を受けています。理系を含め他学部からの来訪もあり、また新入生や2年生が大学生活の充実をめざし早めに相談に訪れてくるのはうれしい限りです。相談員5人は出身企業の業種が異なることも活かしつつ、互いに連携しながら頑張っています。

最近は大卒社員の約三分の一が入社後3年以内に退職してしまうとか、ニートが増えて日本の社会は先々たいへん!という論調がマスコミを賑わせています。しかし、我々はこの一年半の間、そのような状況を実感したことはありません。ガイダンスやセミナーに出席し、実際の就職活動を着々と的確に進めて内定を獲得する学生も多いです。

センターを来訪する学生は質問内容など問題点を自分なりによく掘り下げているので、我々もアドバイスには自然に熱が入ります。自己PR・志望動機などの文案を持参されるケースも多くあります。当初の文章にはやや表現の甘い部分があっても、皆がたいへん素直で、アドバイスをよく聞き入れてくれ、再作成されてきたものは

結構立派に仕上がっています。我々は、就職活動のためだけではなく、職に就いてからも十分認識しておいてほしいという気持ちから、多少言いにくいことでも思い切ってチクリ!と注意することがありますが、「今まで誰からもあまり指摘してもらわなかったから、たいへんありがたかった」と、むしろ感謝されます。今の若者は素直で、昔より周囲の人々への気配りも随分行き届いているのではないのでしょうか。

社会科学系3学部4年生のゼミ幹事が結束して3年生のゼミ幹事に働きかけ、大学生活充実のためのさまざまな施策を企画・実施し始めました。さらに代々引き継ぎ、定着させようと頑張っています。センターはその意気に感じ、凌霄会の支援も得て大いに協力していこうと考えています。

## キャリア教育科目の新設

キャリアデザインに関する全学共通授業科目「総合科目Ⅱ」（選択科目）が、平成18年度後期から1年生を対象として新規に開講されることになりました。この授業は、「職業と学び—キャリアデザインを考える」というテーマにより開講されま

す。学生の皆さんが、職業人など複数の担当講師による講義を通じ、将来の人生設計（キャリアデザイン）について学ぶことによって、より充実した大学生活となり、卒業後の進路・就職を考える機会となることが期待されます。



# 神戸大学 東京オフィス日誌

神戸大学東京オフィス  
コーディネーター

## 植村 達男

3年目に入った神戸大学東京オフィスの近況を、日誌風に綴ってみました。  
対象期間は平成18年3月から7月初旬まで。この間、東京オフィスを訪れた  
学生数は58人でした。



×月×日

午前中に東京オフィスに立ち寄り、午後からの面接に出かけた自然科学研究科のA君が帰ってくる。かなり疲れきった様子。面接官の一人に手厳しい質問を受け、十分な受け答えができなかったことを悔やむ。「もう済んだことだから、くよくよすることはないよ」と言葉をかけ、「それに、ほかの受験生だって、君と同じだったのではないかな」と、続ける。A君には気休めのように聞こえるらしい。

×月×日

夕刻、東京オフィスに待機していた先日のA君の携帯電話が鳴る。受信したとたんに、顔が大きくほころぶ。「内定が出ました。第一志望です」。続いて「ありがとうございます」と頭を下げる。「よかったね! 実力だよ」と私。この日の深夜バスでA君は神戸に帰っていった。

×月×日

海事科学部の女子学生Bさんが来訪。志望の海運会社から海上勤務者の内定が出て、内定者の顔合わせのために来たという。報告かたがた立ち寄ってくれたのはうれしい。船長になって世界をまわるのがBさんの夢。素晴らしい夢だ。なお、経済学部C君も、同じ会社から内定を得たが、お互いにそのことを知らなかった。

×月×日

神戸の六甲台就職情報センターから電話。東京オフィスに来訪したことがある経済学研究科のD君が信託銀行に内定した旨の連絡だった。同日、国際文化学部のE君から、大手不動産会社に内定した旨の電話連絡もあった。E君は、同業他社との比較で、「どうしても入りたい」と思っていた会社から内定をもらい、大満足。「君と一緒に仕事をやっていこう」という会社のスタンスに感動したようだ。

×月×日

外資系IT企業を受験している自然科学研究科のF君が来訪。神戸に帰る前のひとときを過ごす。コーヒーを片手に東京オフィスのメンバーと談笑。若い人と話すのは楽しい。

×月×日

鉄鋼、プラントといった重厚長大企業ばかりを受けていた国際協力研究科の女子学生Gさんが再来訪。電子部品関係の大企業から内定を得たとの報告がある。国際的な企業なので満足そう。「この会社の創業者は神戸大学工学部の前身校の卒業生だよ」と私が伝えると、「へー、そうなんですか」とGさん。そういえば、出光興産の創業者出光佐三さんが明治期の神戸高商(法学部、経済学部、経営学部などの前身校)の卒業生だということを知らない経営学部の学生がいたことを思い出した。

×月×日

外資系IT企業を受験、面接を重ねていた自然科学研究科のF君が再来訪。「ようやく内定が出ました」とニコニコ。勤務地(首都圏)との関係で「どこに住めば通勤が楽で、家賃が安いのか」の質問がある。気が早いですね。

×月×日

経済学部のH君来訪。総合商社志望。一年休学してアフリカでボランティア活動をしていたとのこと。相談に乗るところか、Hさんの体験談に感動する。ニート、フリーターといった側面ばかりが報道される昨今、H君のようにアフリカに行って、恵まれない子どもたちに奉仕する若者がいることに一同感激。「今日は、教えられたな」の感あり。

×月×日

まだ就職が決まらないというJ君から相談の電話。「ハキハキと、やる気を見せて、少々のハッキリも必要」とアドバイス。J君、成績は良いらしい。書類やペーパーテストまでは通るが、面接で落とされてきた。就職試験では、態度やコミュニケーション力など、成績以外の要素も大切。このことを、しっかり認識していないようだ。

×月×日

国際文化学部の女子学生Kさん来訪。いまは、都内の国際機関でインターンシップ中。ちょっとパソコンを使用したいとのこと。一時間ほど、パソコンとにらめっこ。インターンシップは、まだ続くと言う。「また、いらっしやい」と私。

×月×日

国際協力研究科の受験を考えている都内の女子学生が来訪。関係資料を手渡す。そういえば、先般は神奈川県の高校生の母親が「娘が海事科学部を受ける」というので、資料集めなどの目的で訪れた。受験前から「就職」に関心があるというのも、最近の傾向か。その前に、「何を勉強したいか」という大命題があるはずなのだが、もっとも、この点に関して筆者は偉そうなことを言える立場にはない。

×月×日

先般、電話で相談を受けたJ君から「内定がでた!」と連絡がくる。ほっとする。これで気がかりな案件は一掃した。

そのほか、面接会場への道案内、就職活動の合間に「東京タワーや日比谷公園に行きたい」といった要望に応じて地図をコピーすることもあった。また、雑談の中で「企業経営者には司馬遼太郎の愛読者が多いので、適当に話を合わせられるようにしておくよ!」「金融関係に進みたいなら、高杉良や幸田真音の小説のどれかを読んでおいたら」とアドバイスしたこともある。

神戸大学東京オフィスはJR東京駅の隣駅、有楽町駅に近く、さらに複数の地下鉄線の駅にも近く、交通至便の地にあります。平日午前10時から午後5時まで(延長については個別に対応)。コーヒーは無料。交通案内、宿泊の手配も対応できます。

東京都千代田区丸の内3-1-1 帝国劇場ビル地下2階 神戸大学東京凌霜クラブ内

最寄駅: JR山手線有楽町駅、東京メトロ日比谷駅(日比谷線、千代田線)  
東京メトロ有楽町駅(有楽町線)、都営地下鉄日比谷駅(三田線)  
[各駅から徒歩2~5分]

電話: 03-3211-0032

FAX: 03-3211-3147

<http://kobe-u.ac.jp/info/tokyo-office/index.htm>

## Messege 1

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社  
コンサルティング事業本部 東京第一本部経営戦略部  
シニアコンサルタント

### 高橋 千枝子さん

平成5年 経済学部経済学科卒業  
平成17年 経営学研究科専門職大学院(MBA)修了



銀行系シンクタンクである三菱UFJリサーチ&コンサルティングのコンサルティング部門で、経営コンサルタントとして勤務しています。主に流通・ヘルスケア分野のマーケティングや事業化支援などを行っており、担当業種・業態は健康食品・化粧品・医療・スーパー・ドラッグストア・ホームセンター・介護サービス・教育サービス・通信販売まで非常に幅広いですが、一貫して最終消費者と直接つながっている商品・サービスにこだわっています。

就職活動当初はいろんな企業を受けましたが、途中で「あれこ

れ調査分析して、一つの方向性を見出すような仕事をしたい」と思うようになり、シンクタンクかコンサルティングファームに絞って就職活動を行いました。コンサルタントやリサーチャーは格好よさそうだという単純な考えがあったことも否定はできませんが……。当社(入社当時は三和総合研究所、合併により現在の社名へ)に就職を決めたのは、設立して間もない若い企業で自由闊達な雰囲気にあふれていたこと、面接していただいた方とフィーリングが合って、直感で「この会社で働きたい」と思ったからです。

その直感は正しかったようです。入社して14年目になりますが、年々コンサルティングの仕事というものが楽しくなってきました。入社当時は夜遅くまで、ひたすらデータ分析やレポート作成を行い、格好いどころか体力のいる地道な仕事でした。しかし、段々とプロジェクトをまかされるようになると、クライアントとやり取りしながら、こちらの考えを理解していただき、それが新商品や新規事業など目に見える形で生まれていくのは、大きなやり甲斐です。また、ニュース番組のコメンテーターやセミナーの講師をやらせていただいたり、著書も2冊出版させてもらったり、仕事の幅もどんどん広がり、これからの自分が楽しみです。

会社選びについてアドバイスするならば、自分の好きな仕事や業種にとことんこだわり、自分の直感「この会社で働きたい!」を大事にしてもらいたいということです。そして、会社という組織をよい意味で利用しながら、仕事を通じて自己実現してってもらいたいと思います。

## 先輩からのメッセージ

入社して今年でちょうど25年が経ちました。現在は、会社の中長期計画の策定・推進、お客様本位の取り組みの全店への浸透などを通じた企業価値向上策、苦情も含めお客様からの声の対応の統括、経営会議の事務局などを担当しています。

当社への応募の動機を思い起こしてみると、この会社に入社していたゼミの先輩から、損害保険事業の将来性や、当社の伝統と言われている自由闊達な社風などについて熱く語っていただき、会社自体とそこで働く先輩に魅力を感じたということでした。

入社してからの9年間は、和歌山・長野の第一線の支社で、パーソナル営業部門に身を置きました。その頃の実感は「若い社員によく仕事を任せて、さまざまなチャレンジをさせてくれる会社だな」というものでした。その後、本店の営業企画部に3年、人事部に6年在籍した後、横浜での法人担当の営業課長の5年間を経て現在に至っていますが、支社営業の経験が自身の原点であり、いずれの職場でもこの経験が活かしてきたように思います。

いまでも毎年、採用に携わる機会に恵まれていますが、「学生時代には自分の考えと責任において、こういうことをした」と自信を持って言えるような方に魅力を感じます。面接は、正に学生と企業の大切な出会いの場です。皆さんには、自身の専攻分野はもちろんのこと、目的意識を持った学生生活を送ってほしいと思います。また、旅行をしたり、さまざまなジャンルの本を読むなどしたりして、見聞を広め、多様な知識を身につけることも必要ではないでしょうか。さらには語

## Messege 2

東京海上日動火災保険株式会社  
経営企画部 部長 兼 計画推進グループリーダー

### 木村 岩雄さん

昭和56年 経済学部卒業



学力の向上を図るなどの自己研鑽も、ボードレスがいっそう進んでいくこれからの社会人生活への準備として有益だと思います。

会社選びに際しては、そこで働いている社員に直接会って話を聴くことが大切だと思います。当社はいまでも自由闊達な社風で、男女を問わず社員に活躍のステージを提供する会社だと思っています。皆さんの就職活動が充実したものとなるよう、心から祈っています。



# インターンシップに チャレンジしよう!

いま、インターンシップ(就業体験)がいろいろな企業や機関で受け入れられています。神戸大学では一部の学部・学科で単位認定して取り組み、学務部就職支援室でもインターンシップの紹介をしています。海外インターンシップも実施しています。実際に職場で仕事をする事で職業意識が高まるし、大学での勉

学にはっきりした目的意識をもつようになるなどの利点が上げられています。就職活動の前段階として取り組む人もいます。神戸大学ではホームページに「インターンシップ情報」(<http://www.kobe-u.ac.jp/campuslife/employment/internship.htm>)を掲載しています。利用してください。



## 英語力強化へ 意欲募る

経済学部  
伊原 菜美さん

私が参加したのは、アメリカ・シアトルにある兵庫県ワシントン州事務所での約3週間のインターンシップです。将来は海外で働きたいという夢の実現へ、いくらかでも役に立つかなと思ったからです。業務内容としては、カルチャークラスの手伝い、州知事へ渡す兵庫県に関する資料の作成、月例報告に掲載するトピックの選択・記事作成、電話応対などでした。

また、日本を現地の人に紹介する「秋祭り」というイベントでは「兵庫県の文化」を担当し、パワーポイントで立杭焼きや「宝塚」、阪神タイガースを取り上げました。宝塚の舞台を見せて「男の人は何人?」といったクイズを出したり、景品に抹茶の飴など日本のお菓子を用意したりしました。子どもから大人まで、たくさんの方が興味を感じて、私のつたない英語にも熱心に耳を傾けて喜んでくれました。感激しました。

インターン先で英語を使った業務を経験でき、同時にホームステイも行えたので、日常的な英語でのコミュニケーション能力も養うことができました。同時に英語力の弱さも実感しました。本当に貴重な体験で、参加して正解だったと感じています。

就職先に決まった商社では海外派遣を目指します。

## 仕事への心構え 学んだ

昨年の8月後半、私は大阪府立弥生文化博物館の学芸課で2週間のインターンシップを経験しました。参加した最も大きな理由は、就職活動本番を目前に控え、自分の肌で仕事というものを実感してみたかったからです。国際文化学部の掲示板で情報を見つけ、公務員試験を受験することも検討していたため、民間企業ではなく大阪府を選び、「府民生活・教育・文化」を希望職種として選択したところ、博物館に配属されました。

仕事は展示会のパンフレット用に撮影した展示品の写真ネガをスキャンしてパソコンに取り込んだり、寄贈図書のリストと現物と照合して正したりする作業で、2週間のほとんどがパソコンと向き合う毎日でした。単調な仕事で、正直言えばもっと多様な仕事に取り組みたかったという気持ちが残りました。

その一方で、職員5人の職場でしたのですぐに溶け込め、い



国際文化学部  
野村 博之さん

ろいろなお話を直接うかがえたのは収穫でした。仕事のやり方を丁寧に教えていただいただけでなく、学生から社会人へと移り変わる就職活動への心構えや、仕事に対する考え方などをうかがい、さまざまなことを考えさせられました。また、社会に出て仕事をするということへのモチベーションが高まり、就職活動へのよい足がかりになったと感じています。

# 大学院 進学

学部の勉強だけでは飽き足りない人、研究生生活を目指す人……。

学部卒業後のもう一つの道に大学院進学があります。

とくに理工系の学部からはかなりの人が大学院に進みます。

神戸大学は大学院の充実に力を注ぎ、平成19年度からは各学部に対応した11大学院と国際協力研究科の12大学院体制を整える予定で、優れた教員のもと学内・学外からの進学者に門戸を開いています。



自然科学研究科  
博士課程後期課程  
地球惑星システム科学専攻

北田 数也さん

地球物理学の立場で「 Gondwana大陸の形成と分裂」を調べています。Gondwana大陸は約1億8千万年前にアフリカ、南極大陸などに分裂し始め、その最初に分裂を開始した地域が、南極昭和基地の位置する東ドロンイングモードランドとされています。そこで、昨年12月か

ら1か月半ほど南極昭和基地周辺で観測に従事しました。日独共同航空機観測の国立極地研究所のチームに加わり、小型航空機に重力計や磁力計、アイスレーダーなどを積み込んで観測し、夜は雪上車で寝る生活でした。

地球物理学は、地球のさまざまな自然現象を物理学的な手法から理解しようとする研究分野です。実際に研究地域まで観測に出かけ、地球を肌で感じられることは、地球物理学の魅力のひとつだと思います。修士論文「重力異常から推定したマリアナトラフの地殻構造」では、研究船に乗り込み、マリアナトラフで重力や海底地形を観測しました。そして得られたデータを解析して、拡大軸下の地殻の構造を明らかにしました。

前期課程から後期課程に進んだ理由の一つに南極に行けるかもしれないという期待がありました。研究室の島伸和助教授や極地研究所にいる研究室の先輩も南極観測の経験があり、夢を駆り立てられていました。念願かなってヘリコプターで南極大陸に降り立った時の感激は忘れられません。360度地平線、白一色……。研究職に就けるかどうか不安ですし、経済的に親には迷惑をかけてはいますが、後期課程に進んだかいがありました。

南極観測船「しらせ」での帰路も観測を続けました。おおざっぱに言えば、重力異常から密度構造が分かり、地磁気異常から推定された海洋底の年代や地形データなどと合わせて解析を進めれば、Gondwana大陸の初期分裂過程を解明できるのです。航空機重力データの解析のために1か月、ドイツにも行く予定です。



法学研究科  
実務法律専攻  
(法科大学院)

酒井 美奈さん

弁護士になりたいのです。それも企業活動の法務を担当する渉外弁護士。できれば中国関係がいいなあ。昔から中国に興味があるんです。

弁護士を目指したのは早稲田大学法学部1年の時。海外旅行をしていて、「英語も話せない、ただの日本人の女の子」と気づいたのです。専門を持ち、人の役に立つ人間になりたいと

考え、法律を学んでいるのなら弁護士だ、と。信念をもってやれる仕事で、自由に活動できるのも魅力です。法律の予備校にも通い、こつこつ勉強し、法科大学院なら地元の、評判の高い神戸大学だと考え、この春に入学しました。

いまは司法試験科目の全8科目を勉強しているので、毎日が授業の連続です。それも先生がポンポンと当てていき、その質問に答える対話型演習。予習してこなければ成り立ちません。

先生方は「恥をかいた方が勉強になるよ」と言われます。当てられて答えられず、他の学生が正解すると悔しくて、きっちり頭の中に入るのです。

クラスがあって、教室は毎日同じ顔ぶれ。大学院というより高校に近い感じです。法科大学院生専用の自習室があって、そこでみんな夜遅くまで勉強しています。資料や参考書がそろっているし、友達に尋ねたりできるので、家で勉強するより能率が上がります。夜中の2時3時までいる人もいます。土曜、日曜も籠もる人がいます。私はどちらか一日だけだけ。

また、友だち4人で自主ゼミを持っています。「答練」といって答案を書く力を養う練習会です。問題を出し合い、答案の問題点を指摘し合います。

勉強漬けで、ほかの大学院とは違うでしょうね。でも、目指すところがはっきりしているから楽しいですよ。

希望に溢れた毎日です。

## 平成18年度大学院データ

■大学院 修士(博士前期)

	入学定員	志願者数	入学者数	総定員	在籍者数
文学研究科	50	90	53	100	129
総合人間科学研究科	140	358	154	277	342
法学研究科	40	79	40	80	92
経済学研究科	68	153	88	136	162
経営学研究科	51	113	37	102	79
医学系研究科	76	146	85	152	201
自然科学研究科	625	1,105	688	1,250	1,414
国際協力研究科	70	151	53	130	180
小計	1,120	2,195	1,198	2,227	2,599

■大学院 博士(博士後期)

	入学定員	志願者数	入学者数	総定員	在籍者数
総合人間科学研究科	20	61	40	60	166
法学研究科	20	19	10	60	77
経済学研究科	34	35	26	102	120
経営学研究科	34	38	25	102	100
医学系研究科	103	138	119	387	520
文学研究科	20	38	29	60	138
自然科学研究科	150	118	111	450	530
国際協力研究科	30	34	25	90	142
小計	411	481	385	1,311	1,793

■大学院 専門職学位課程

	入学定員	志願者数	入学者数	総定員	在籍者数
法学研究科	100	1,063	98	300	220
経営学研究科	69	187	85	123	160
小計	169	1,250	183	423	380



Medical Center for Student Health

# 保健管理センターだより



## 傷の治療に湿潤療法・・・ じくじく状態で早く治す！

ケガをした時、傷を水道水や生理食塩水でよく洗った後、消毒せずに、軟膏（白色ワセリン）や創傷被覆材（ハイドロコロイドドレッシング材）（図1）、ラップなどで覆い、湿った状態を保って治す方法（湿潤療法）が広まってきています。従来のように、傷を消毒し、ガーゼを当て、乾燥させて治す方法に比べて、痛みが少なく、傷の治りも早くてきれい、とされています。

### ● なぜ消毒は良くないの？

皮膚にはもともと“常在菌”といわれる細菌が存在し、消毒をしても数時間後には元に戻り、皮膚を完全な無菌状態に保つことは不可能です。また、その“常在菌”だけで傷が化膿することはありません。

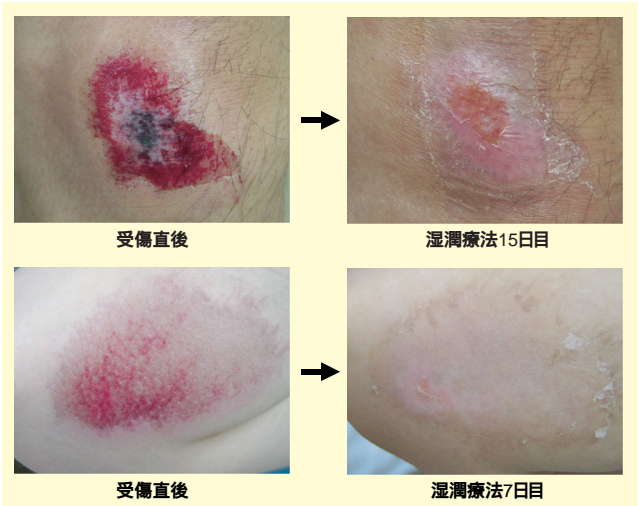
一方、消毒をすると、傷を治そうと頑張っている皮膚の細胞までも殺してしまいます。つまり消毒は、傷を治して元の状態に戻そうとしている細胞を殺すだけで、殺菌には役立たないということなのです。もちろん全ての場合において消毒が良くないというわけではありませんが、ケガをした時、最も大切なことは、できるだけ早く水道水や生理食塩水でよく洗うことなのです。

### ● カサブタは傷が治ってきている証拠？

では、乾燥はなぜ良くないのでしょうか。これも消毒が概して良くないのと同じように、傷を治そうと頑張っている細胞が、乾燥によって死んでしまい、傷の治りが遅れるからなのです。傷が治る時、痂皮（いわゆるカサブタ）ができることがあります。これは必ずしも理想的な傷の治り方ではなく、湿潤療法で治した時にはカサブタはできません。

### ● 保健管理センターでは・・・

保健管理センターでも傷の手当てに湿潤療法を取り入れています。（図2）に示すように、いずれも痂皮（カサブタ）を作らず、きれ



（図2）湿潤療法による治療の例

受傷後に水道水でよく洗浄した後、消毒をせず、創傷被覆材を用いて湿潤療法を施した傷の経過。

いに治っていることがわかりでしょう。消毒しないので、消毒液が滲みて痛むこともなく、経過中の傷の痛みもほとんどありません。ただ、湿潤療法は、化膿している傷や、動物に咬まれた傷などには行うことができません。また、湿潤療法での経過中に痛みが強くなってきた時には、化膿している可能性がありますので、治療法を変更する必要があります。深い傷や大きな傷では病院や医院での外科的処置が必要になります。

昨年度（平成17年度）、保健管理センター「からだの健康相談」を利用された方は延べ6,924人で、そのうちケガで傷の手当てを受けた方は216人でした。ケガの原因としてはバイクによる転倒事故が多いようです。皆さんもくれぐれも気を付けて・・・ケガをした時には傷の水洗いを充分にしてから、できるだけ早く保健管理センターや病院・医院を受診してください。

参考文献  
Dermatol Surg 28: 210-214, 2002  
夏井睦: これからの創傷治療, 医学書院, 東京, 2004  
穴澤貞夫 (監修): 改訂ドレッシング; 新しい創傷管理, へるす出版, 東京, 2005



（図1）湿潤療法に用いる軟膏（白色ワセリン）（左）と創傷被覆材（ハイドロコロイドドレッシング材）

**お問い合わせ**

〒657-8501 神戸市灘区六甲台町 1-1  
神戸大学保健管理センター ☎078-803-5245

〒658-0022 神戸市東灘区深江南町 5-1-1  
神戸大学保健管理センター深江分室 ☎078-431-6232

**保健管理センターだより 69**  
（神戸大学広報誌「六甲ひろば」からひき続き連載）  
保健管理センターの詳細につきましては、保健管理センターホームページでも案内しています。  
<http://www.kobe-u.ac.jp/medicalc/index-j.html>

## 私の学び

### いつの日か途上国でビジネスを



国際協力研究科博士課程  
前期課程国際開発政策専攻  
**緒方 健太さん**

福岡の西南学院大学で国際経済を学んだ後、大学院でさらに経済理論と経済実践の双方を学びたいと国際協力研究科に来ました。駿河輝和教授のもとで「外国直接投資と途上国経済」を研究しています。先進国の投資—私の場合は技術移転ですが—がどういった状況のなかで途上国の経済発展に結びつくのかがテーマです。統計データを集め、それを理論式にあてはめ、途上国に技術移転が根付いているかを検証するのです。私はなにより民間企業

の成長がなければ途上国経済の発展はないと考えています。

前期課程1年の時は経済理論の基礎固めに終始しました。これから途上国へ向けて、データ収集や現状把握を行おうと考えています。実際に現地に出かけ学ぶことが開発経済学の面白さです。駿河教授は海外調査が多い人なので、経済理論を教えながら中国、モンゴル、カザフスタンなどでの体験を語ってくれます。また、ゼミ仲間には青年海外協力隊経験者や社会人経験者、さらに留学生が多いので、研究室は刺激がいっぱいです。

ずっと途上国問題に興味があって、大学時代からフレンズ国際ワークキャンプ(FIWC)の活動に参加し、ボランティアとしてフィリピンの村々に簡易水道を設置する活動を続けてきました。活動と大学院での研究を平行して行うことで、理論と実践の双方を学んでいます。いまFIWC関西委員会代表としてフィリピンにキャンプを立ち上げようとしています。この夏にも1か月ほど行き準備を進めました。大学院を修了する来春には実現させるつもりです。新しい事業展開を企画し、人を巻き込んで実現していく面白さは格別です。

国際協力研究科で学んだ成果を生かして、将来は途上国でビジネスを展開したい夢を持っています。就職もそのノウハウを習得するため、会社運営のすべてを学べるベンチャー企業を目指しています。夢実現へ、いま、やる気満々です。

### 進まない農業の大規模化に関心

食料経済学を学んでいます。理系の学部・大学院なのに社会経済系の学問です。

都会の中で比較的恵まれていた自然環境が壊されていくのを見ながら育ったせいか、なんとなく大学は農学部と決めていました。大学案内を見て、人気のバイオではなく、農学部には社会経済学的なアプローチで研究する分野もあるのかと新鮮な感じがして神戸大に決めました。大講座の「食料環境経済学」には6人の先生がいて、本当に教えられることがいっぱいありました。卒業論文では有機農産物の認証制度の実態を調べたのですが、納得できるものに仕上がらず、もっと研究したいと思って大学院に進みました。いままでの勉強不足を恥じています。

農業政策の専門家である加古敏之教授のもとで経済学の基礎から勉強し直しています。専門の著作や論文を読むことが大半ですが、農村の現状や自然が壊されている実態など、いろんなことに興味をもち、新聞・雑誌もよく読むようになりました。経済学を学ぶなかで、いま世の中で起きていることがなんとなく分かってきました。ゼミの仲間には中国や韓国をはじめ多くの国からきた留学生もいて、刺激的な話が聞けます。

いま興味があるのは、日本ではなぜ農業の大規模化が進まないのかということ。多くが兼業農家で、土曜・日曜の農作業。理論的に

は市場から消えていくはずなのに、残っているのはなぜなのか。日本の農政はずっと大規模化を進めてきたはずなのに、なぜ進まなかったのか。政策によって高価格の農産物が守られている、農家も土地を手放さない。しかし、いずれ世界の中で農産物もより広範囲な自由化は避けられず、農業がこのままの形では生き残れない……。指摘され続けてきたテーマですが、なんとかオリジナルな意見を打ち出して修士論文にまとめることができたらなあと考えています。



自然科学研究科博士課程  
前期課程植物資源学専攻  
**原 浩太さん**



## 宇宙発電構想に熱中した2年間



自然科学研究科博士課程  
前期課程情報知能工学専攻

田中 康平さん

賀谷信幸教授のもと宇宙太陽発電衛星構想やその周辺技術の勉強をしています。宇宙に建設した数キロ四方のソーラーパネルで太陽の光を受けとめて発電し、そのエネルギーをマイクロ波に変換し、マイクロ波アンテナで地球に送信してエネルギーを利用するというビッグな取り組みです。クリーンで、無尽蔵、しかも安定供給が可能なエネルギー技術です。その基礎の、また基礎の実験として今年1月にロケットの打ち上げに参加し、実験は成功しました。

工学部情報知能工学科の4年から賀谷研究室でモノ作りに取り組むことになりました。ごちゃごちゃした実験室で、毎日基盤に部品のハンダ付けと実験ばかり。IT技術(ソフト)を勉強するつもりでしたので、初めはなじめなかったのですが、作ったものが動き出すと面白く、夏に大学院の入試に合格してすぐプロジェクトに参加すると、すっかりのめり込んでしまいました。宇宙航空研究開発機構と東京大学、ウィーン工科大学との共同プロジェクトで、今回の実験は親機と子機3機を打ち上げ、この4つの間に網を展開し(東大が担当)、網の上にロボットを走らせ(ウィーン工科大)、さらに各衛星からマイクロ波を制御して地上に送信する(神戸大)ものです。

ロケットが宇宙にとどまっているのはわずか数分間。2年間をその数分のために費やしたのですから、成功したときの達成感はすごかった。苦労を共にした参加メンバーと飲んだ焼酎のおいしかったこと! 挫折も多く、たまにうまくいくことがあったから続けられたというのが正直な気持ちです。いろいろな研究者と一緒に仕事をし、勉強になることも多かった。賀谷教授をはじめ、お世話になった方々に非常に感謝しています。

来年4月からは社会人になります。モノ作りの分野に限らず、もっといろいろなことに挑戦したいです。あの経験は僕の中で宝物として生き続けます。

## 人々の暮らしから見た開発援助

発展途上国の開発問題とか環境問題に興味があって太田和宏助教授のゼミで勉強しています。太田ゼミでは毎年のように、中国、東南アジアに調査旅行に行っています。具体的な目標があれば勉強に身が入るというのが太田先生の考え方です。私も2年の後期からゼミに顔を出して中国へ10日間ほど出かけ、3年の昨年12月にはフィリピンのセブ島へ2週間行ってきました。

セブ市では政府開発援助(ODA)で道路建設と埋め立てが行われました。私たちは、この事業が現地の人たちにどのような影響を与えたのかを調べました。事前に外務省や国際協力機構(JICA)、国際協力銀行(JBIC)、さらに帰国後には国会図書館でも調べました。現地には2週間ほどいて行政担当者や立ち退きにあった人たちなどから話を聞きましたが、いろいろな問題が浮かび上がってきました。埋め立て地は電力整備が遅れていることもあって企業誘致が進まず、道路管理上のトラブルもありましたが、私の関心を引いたのは補償もなく散り散りになった人たちの暮らしです。山に追われた漁民もいました。貧しい英語力では十分な調査ができなかったのが悔しいです。私の課題です。

小学生の時に見たユニセフのビデオ、中学生の時に黒柳徹子さんの『トットちゃんとトットちゃんたち』で読んだ、枯れ葉剤の影響で生まれた目のない女の子のこと……。これらが私をいまの勉強に進ま

せたのだと思っています。でも、卒業・就職を前にいま、大学院へ進んでもっと勉強したい気持ちと、社会に出たいという気持ちで揺れています。『トットちゃんとトットちゃんたち』のなかにあった、助けてあげたいと思うなら、あなたの身の回りの人を助けてあげてという言葉が印象に強く残っています。それで、就職するのなら、日本の中の問題と向き合うことのできる新聞記者かなあ、とも考えています。

二兎を追って……とならないよう、よく考えて頑張ります。



発達科学部人間環境学科  
社会環境論コース

田阪 綾子さん

# 難治性肝疾患に挑む 具 英成



B型、C型のウイルス性肝炎が高じて肝硬変から肝臓がんに進む。がん細胞が大きくなり、広がったり、肝機能が落ちたり病変が進むと――。

重症の肝疾患治療に挑戦しているのが、具英成教授をリーダーにした神戸大学医学部附属病院肝臓・移植外科グループ。世界に先駆けて確立した経皮的肝灌流化学療法に生体肝移植術、さらに高い外科技術が必要な肝切除など、これまでの治療法を組み合わせ肝臓がん治療に挑戦し、「神戸戦略」を打ち立て世界的な注目を浴びています。

がん死亡率で男性では三番目、女性では四番目に高いのが肝臓がん。「神戸戦略」ではがんの進行度と肝機能の状態をにらみながら患者の病態にあった最適の組み合わせを考えて治療法を決めます。

がんの大きさにかかわらず肝機能が良ければ、まず第1は肝切除を選びます。肝機能が良くない場合で、がんが直径2、3センチにとどまっていれば針を刺してマイクロ波やラジオで焼き消す穿刺焼灼法などを用います。これらは、がんに栄養が届かぬように肝動脈を詰まらせる肝動脈塞栓療法とともに、主として肝機能が低下した患者に対する治療法です。

しかし、肝機能が良くてもがんが肝臓全体に広がった場合や、肝機能が極端に不良の場合は、これまでは残念ながら「治療方法なし」という判断を下すしかなかったのです。このような状況の中で重症患者に朗報を告げたのが神戸戦略です。

## 【経皮的肝灌流化学療法】

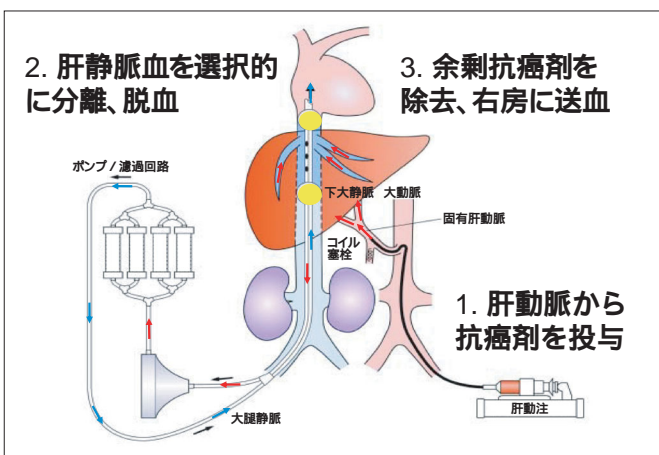
抗がん剤を使う化学療法だと、量が多くなればなるほど骨髄抑制などの副作用が強まります。具教授らの教室では1980年代後半、抗がん剤の副作用を克服する肝臓がん治療法の研究・開発に取りかかりました。たどりついたのが経皮的肝灌流化学療法（PIHP）です。1989年には臨床応用の成功にこぎ着けています。

抗がん剤をがんのある臓器だけに注いだあと体外に出すことで副作用を抑える手法は1980年代初めに試みられていました。しかし、開腹などの手術を伴い、しかも肝臓外にもれ出

## \*経皮的肝灌流化学療法

簡単に言えば、大腿動脈から肝動脈へ通したカテーテルで抗がん剤を肝臓に集中的に投入します。それにあわせて肝臓から漏れ出した余分な抗癌剤を大腿静脈から肝臓の後ろに留置したカテーテルで血液と一緒に回収し、体外に一旦出して活性炭フィルターでろ過し、きれいになった血液を心臓の右房に戻すやり方です。これまでの10倍の抗がん剤を使えるようになりました。（図1参照）

神戸大学の経皮的肝灌流システム（図1）



る抗がん剤が多いなどの弱点もあり、あまり普及しませんでした。その点、PIHPは専用のカテーテルを太ももの付け根から入れるだけで大がかりな手術は不要になります。抗がん剤の漏れも少なく、治療時間は3時間程度です。反復して実施できるのも利点です。

とは言っても、体外で血液を循環させるのは高度な技術が必要で、具教授らはさらに改良を積み重ね、「積極的に取り入れたのはここ10年ぐらい」（具教授）とか。PIHPは切除できない多発性肝臓がんにも63%の有効率を示し、手術後5年生存率は24%と、ほかの治療法を大きく凌ぐ成果が出ています。

ただ、直径10センチ以上の大きながんには効果が限定的と言います。がんが大きくなろうとして肝臓以外のまわりの臓器から動脈を引いてきて栄養を摂り、抗がん剤の攻撃から免れようとするからです。生体の不思議としか言いようがありません。

「こうした場合、肝機能の比較的良好な患者に対してですが、減量肝切除とPIHPを組み合わせる2段階治療を手掛けるようになりました。有効率83%、うち48%にがん細胞が消えるなど、さらにいい結果が出ています」と具教授は顔をほころばせます。

減量肝切除というのは、大きながんだけを切除し、残りの小さながんはあえて切らない治療法。小さながんはPIHPで治療します。すべてのがん細胞を切り取ると、肝臓への負担が大きいためです。いま、2段階治療は進行肝臓がんにも最も有効性の高い治療法との評価が世界的に高まっており、つい最近では



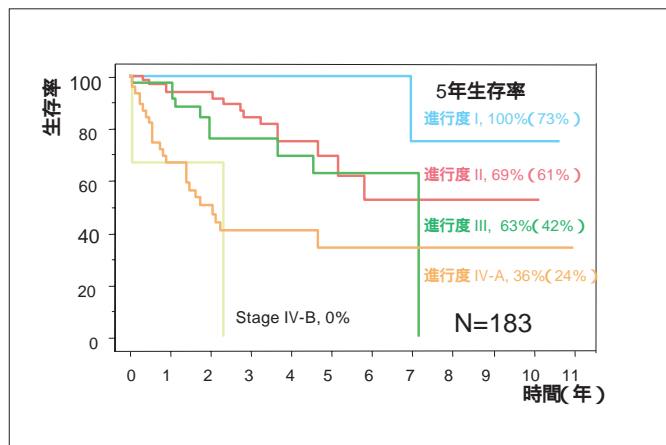
米国ハーバード大学から患者が神戸大学に紹介され、治療に成功したとのことです。

【生体肝移植】

全国で年間500例を超えた生体肝移植。子どもへの肝移植から始まり、成人を対象にしたケースが増えてきましたが、まだまだ難しい手術であることは間違いありません。神戸戦略では、肝がんが小さくて肝機能が大きく落ちた末期肝硬変患者に生体肝移植手術を勧めています。2006年6月末までに成人ばかり32例に施しています。

大半の人たちはB型、C型のウイルス肝炎から肝硬変、肝がんを合症していましたが、手術成功率94%でほかの大学、医療機関と比べ際だった好成績とのことです。「ミラノ基準に沿うことで移植後に肝臓がんが再発するのを防ぐことが可能となります」と福本巧・助教授は指摘しています。

神戸大学の肝臓がん切除後生存率



(括弧内は第16回全国原発性肝癌追跡調査の5年生存率)

\*ミラノ基準

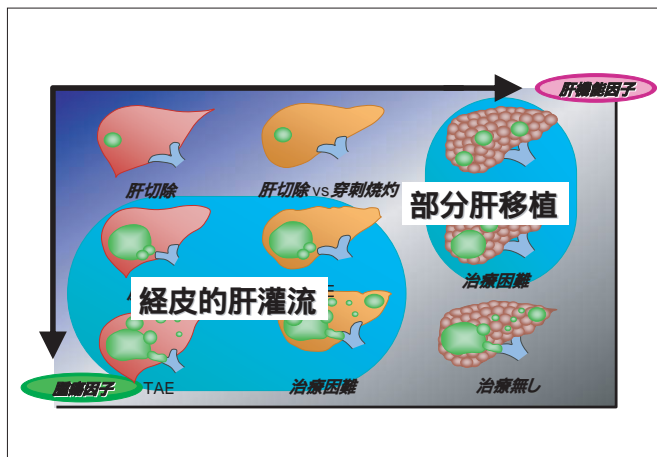
肝臓がんと肝硬変を合併している患者に生体肝移植を実施する適応範囲を定めたもの。1. がん細胞が肝臓以外に転移しておらず血管にも達していない、2. がんの大きさが径5センチ以下1個か、3. または径3センチ以下が3個以内、と規定している。この範囲内にがんが留まれば、保険で治療できます。

手術後のウイルス性肝炎の再発防止にも神戸戦略は大きな成果を上げています。とくにC型にはリバビリン、インターフェロンという抗ウイルス剤を併用して投与する治療法が日本では神戸大学で初めて実施され、いまや日本でも標準療法として確立しています。

【総合力】

生体肝移植は平均して15、16時間、長いケースで30時間にものぼる難手術だそうです。執刀医だけでなく、麻酔医、動

難治性肝疾患に対する総合的な戦略



脈をつなぐ形成外科医、さらに医師をサポートする看護師ら……。具教室以外のメンバーを含めた何十人もスタッフが交代で手術にかかります。具教授が強調するのは病院としての総合力の高さです。一人ひとりが落ち度なく責任を果たさなければ、難しい手術は成功しません。

具チームはいま、週2例、年間で130例ほどの難手術を手掛けています。その中には優れた治療技術を評価した国内外の病院からの紹介患者も多数います(表)。

「重い肝疾患にありとあらゆる治療法を組み合わせる実施している外科チームは私たちのチーム以外に世界中でもないのではないのでしょうか」と語り、具教授はさらに続けます。

「この10年、治療の領域を広げ、以前なら亡くなっていた難しい患者さんが少なくとも2年、3年、家族と一緒に時間をすごせるようになったのは、本当にうれしいことです」。

神戸大学へ患者の紹介を行ってきた施設

(国内25大学)

- 北海道大学 秋田大学 新潟大学 金沢大学 福井医科大学 東京大学 東京医科歯科大学 防衛医科大学 浜松医科大学 名古屋大学 三重大学 京都大学 大阪大学 大阪市立大学 大阪医科大学 関西医科大学 奈良県立医科大学 兵庫医科大学 広島大学 徳島大学 香川医科大学 高知大学 島根大学 佐賀大学 琉球大学

(その他国内主要施設)

- 茨城県がんセンター 愛知県がんセンター 大垣市民病院 三重山本総合病院 育和会記念病院 福井済生会病院 奈良県立奈良病院 奈良高の原中央病院 大阪赤十字病院 大阪警察病院 大阪市立総合医療センター 兵庫県立尼崎病院 川崎病院 岡山赤十字病院 四国がんセンター 尾道市民病院 宇部興産中央病院 国立病院機構福山医療センター 中国労災病院 福岡市民病院

(国外6大学)

- 中華人民共和国湖南大学 中華民国台湾大学 韓国慶北大学校 韓国ウルサン医科大学 マイアミ大学 米国ハーバード大学

# 主な出来事

平成18年の主な出来事です  
(神戸大学HPトップページ<<http://www.kobe-u.ac.jp>>の「お知らせ」などで詳しく見ることができます)

## [1月]

13日 大学教育推進機構が公開シンポジウム「学生の力を活かす教育システムを目指して」を開催。



17日 震災犠牲者を慰霊。阪神・淡路大震災では学生39人、教職員2人、旧神戸商船大学では6人が死去。

18日 インドネシアのシアクアラ大学Prof. Abdi A. Wahab学長らが野上智行学長を表敬訪問。

・ 競基弘賞の第1回授賞式が開催される。阪神・淡路大震災でなくなった神戸大学大学院生競基弘さんの遺志を継ぐとNPO法人国際レスキューシステム研究機構が主催。

21日 21世紀COEプログラム「新しい日本型経済パラダイムの研究教育拠点」が国際会議を開催。日本経済政策学会との共催。

## [2月]

9日 西塚泰美記念 神戸大学21世紀COEプログラム合同国際シンポジウム「シグナル伝達とシグナル伝達病」を開催。

24日 育友会理事会・懇談会を開催。新理事長に齋木賢一氏が就任。

## [3月]

7~8日 スマトラ沖大地震・津波に関する国際ワークショップを開催。

8日 加西市の醸造会社・富久錦が「神戸の香」を発売。神戸大が企画し命名した純米大吟醸酒。農学部と兵庫県との共同プロジェクトから生まれた酒米「杜氏の夢」を農学部附属食資源教育研究センターが生産。

15日 野上智行神戸大学学長がイタリア共和国褒章 (OMRI) のCAVALIERE (カヴァリエーレ=騎士) 勲章を叙勲。

21日 発達科学部がシンポジウム「理系AO入試を通じた高校と大学の接続—21世紀における科学者養成の新展開を目指して」を開催。

24日 学位記授与式。学士2859人、修士1101人、経営学修士(専門職)16人、法務博士(専門職)62人。法務博士は今年が初めて。27日には博士課程後期課程の学位授与式。課程博士188人、論文博士27人。

25~26日 国際協力研究科が「アジア太平洋地域において進行する高等教育のボーダレス化」をテーマに国際ワークショップを開催。

## [4月]

1日 入試広報室を設置。受験生獲得へ大学案内や学部紹介を強化。

・ 国際文化学部が異文化研究交流センターが発足。

1~9日 展示会「篠原の昔と今 古文書と古写真」開催。連携協定を結んでいる神戸市灘区と文学部地域連携センターとの共催。

5日 工学部に学生ホール完成。広さ151平方メートル。

6日 入学式。学部生2710人、編入生217人、修士課程・博士課程前期課程1192人、博士課程・博士課程後期課程385人、専門職学位課程183人。

20日 名誉教授称号授与式。神戸大学百年記念館六甲ホー

ルで27人に授与。

22日 欧州委員会バローゾ委員長が来学。「EUと日本—よりよい明日のための戦略—知識のルネサンス」を講演。EUIJ 関西と神戸大学との共催。

25日 法学研究科がジャーナリスト・プログラム開設記念シンポジウム「この国の行方を探る」を開催。劇作家の山崎正和氏、前外相の町村信孝氏、五百旗頭真教授らが講演、パネル討議。朝日新聞社後援。



## [5月]

10日 「戦略的・独創的な教育研究プロジェクト事業」29件の成果報告会を開催。萌芽の研究、産学官民連携、知的財産活用など、新しい教育・研究の種を育てるのがねらい。

・ 都市安全研究センターが開設10周年記念シンポジウムを開催。

15日 「学長が語り、学長と語る会」を開催。事務系職員と学長が語り合う、初めての集い。6月9日に2回目開催。

26日 医学系研究科へき地医療学講座の開設記念式典を兵庫県豊岡市で開催。兵庫県からの寄附講座で、1月から開講。

26~28日 経営学研究科がワークショップ「中国国家電流通チャンネルの変革」を北京で開催。中国政法大学商学院が協力。

## [6月]

2日 インドネシア・ジャワ島中部地震の被災地に第一次隊を派遣。神戸大学災害医療救援チームの中尾博之助教授ら3人。4日に都市安全研究センターの飯塚敦教授も。6日には医学部保健学科の高田哲教授ら第二次隊2人が出発。その後も派遣を継続。

12日 「大学コンソーシアムひょうご神戸」が発足。31法人の29大学、8短期大学・短期大学部が参加。理事長に野上智行学長。

14日 留学生センターがオープンセンターを開催。市民ら300人らで賑わう。

26日 経済経営研究所と国際協力研究科が「ラテンアメリカにおける開発と政治」をテーマにセミナーを開催。米州開発銀行駐日事務所との共催。



## [7月]

15日 第3回国際海事フォーラムを開催。海事博物館では特別企画展「幕末から明治の船と港の引札」も。

20日 文部科学省の「資質の高い教員養成推進プログラム(教員養成GP)」に文学部・文学研究科の「地域文化を担う地歴科高校教員の養成—我が国の人文科学分野の振興に資する国立大学と公立高校の連携プロジェクト—」が採択。

28日 国内神戸大学卒業留学生同窓会(KAN-J)が発足。  
・ 文部科学省の平成18年度「法科大学院等専門職大学院教育推進プログラム」に経営学研究科(ビジネススクール)のプロジェクトが採択。



# 神戸大学 学友会から

## 神戸大学学友会大阪クラブ 大阪凌霜クラブが創立30周年

神戸大学学友会大阪クラブ/大阪凌霜クラブの創立30周年記念式典が5月27日、六甲台キャンパスで開かれ、夕方からは留学生を交えての懇親パーティーも催され、300人を越す参加者が楽しいひとときを過ごしました。

午後2時からの式典は神戸大学百年記念館六甲ホールで開会。江崎勝久会長のあいさつ、野上智行学長の祝辞のあと、法学研究科・五百旗頭真教授の記念講演「世界の中の日本」がありました。

式典のあと懇親パーティーまでの間はキャンパスツアー。現役学生の案内で六甲台正門から講堂、ステンドグラス天井の102号教室、阪神・淡路大震災慰霊碑などを巡り、往時を懐かしむとともに様変わりぶりに驚くOB、OGの姿があちこちで見られました。

午後5時、正門横の社会科学系アカデミア館1階で懇親パーティー。新野幸次郎学友会会長・凌霜会理事長は「神戸大学をさらによい大学にするために同窓生の心からなる熱い支援を」と呼びかけられました。クラブ恒例の「留学生を励ます会」もこの記念パーティーに併せて実施し、55人の留学生を招待して卒業生と歓談の場をもちました。

フィナーレは現役学生グリークラブの見事な合唱で、華やかに幕を閉じました。



## 盛大に学長を囲む懇談会

神戸市内のホテルで5月22日、野上智行学長を囲む集いが開催されました。約80人の参加者を前に、谷口享子さん（昭和59年教育学部卒）の司会で開会、まず「神戸大学学長を励ます会」の難波昭会長があいさつ。続いて野上学長が謝辞のあと、大要次のように話されました。

EUIJ関西の発足後、種々の成果が広がり喜ばしい。先に欧州委員会のバローゾ委員長が来日し、神戸大学を訪問された。記念講演があり、その際、神戸大学から同委員長に名誉博士号を授与した。その情報は国内よりフランスの新聞をはじめヨーロッパ諸国で大きく報道され、話題を呼んだ。中国では日本の主要大学15校の中に選ばれた。また、神戸大学志願者が今年は昨年比1000人近く増えた。今後はさらに教育・研究体制のリオーガナイズや、教職員および大学全体の活動を広く支援していただける体制を構築したく、神戸大学基金の設立、第1回ホームカミングデイの開催（9月30日）などにも取り組みたい。

会食と並行して懇談では、学長を囲み各テーブルごとの記念撮影など大いに盛り上がり、高田嘉英副会長の閉会のあいさつで午後8時に散会となりました。

## —40代半ば、好きなことを書き続けたい—

### 先輩登場

江 弘毅さん（昭和56年農学部卒）



タウン情報誌「ミーツ・リージョナル」（京阪神エルマガジン社）の編集長を4月に辞め、仲間と編集プロダクションをつくり、書きまくっています。8月に講談社現代新書から『「街的」ということ』を出しました。250枚の書き下ろし。雑誌の氾濫で「街」が露出され、消費行動にとりいれられていく現状を書いています。ほかに、「ミーツ・リージョナル」や「あまから手帖」などにも、また東京の情報誌にも書いています。大きな組織で管理職しているより、自分で好きなことをしていきたいんです。

60年代から70年代にかけたヒッピー世代の最後かなあ。髪を長くし、サーフィンに夢中になり、波を求めて和歌山や四国、遠くはアメリカ西海岸に出かけました。さらにスケボーも。当時の若者風俗を地で行ってました。いまとなつてはふざけた時代だったのか、恥ずかしい思い出です。でも、いままた、同じようなおいを感じますね。サーフingがはったり、みながジーパンはいたり。ひと回りしたのかな。

農学部園芸農学科に進んだのも、土に帰れ！というかけ声に呼応したから。福岡正信の本を多読し、バイオよりも有機農法に興味があり、保田茂さん（現名誉教授）とは酒を飲みながらよく議論しました。しかし、実習に参加して、「農業は街の子の遊びじゃないなあ」と痛感しました。あんまり勉強はしなかったけど、浅田彰やミッシェル・フーコーの構造主義の本など、読書はよくしたと思う。3年の頃から情報誌のライターの仕事をしていて、そのまま居着いた訳です。現在進行形で変わっていく街とかかわり続けたいのです。仕事場が大阪、住まいは神戸です。

といっても、根っからの大阪・岸和田の人間、ものごころついたときから「だんじり」しています。祭り前後の約1週間は仕事を休むし、若頭筆頭を務めた3年前は寄り合いや宴会なんかで年に100回は岸和田に帰りました。『岸和田だんじり祭 だんじり若頭日記』（晶文社）に書きましたけど、「会社ごときでどうして祭りに出られないのか」の世界です。平日に4連休をとったあと、だれも話しかけてくれなかった時はまいったけど。

若頭顧問のいまも月に2、3回寄り合いに出ます。口を出すだけ、えらそうにしているだけ。いずれ世話役につくのでしょうか。私の祭り人生も第4コーナーを回ったのか、そんな気がしています。

# 舞い上がれ大気球！ —皆川理<sup>おさむ</sup>の宇宙線観測—



離陸する気球＝最初の実験成功から約1年後の昭和30年9月4日、神戸大学御影分校で。朝日新聞社提供。  
気球がしぼんでいるように見えるが、上昇するに従って気圧の変化により膨張する

## ■宇宙線観測と気球

1954（昭和29）年8月26日早朝、神戸市東灘区の神戸大学御影分校のグラウンドは、深いため息に包まれた。関係者の期待を背負って暁天に舞い上がるはずだった直径18m、長さ28mの大気球は、折からの強風にあおられて破損し、無惨にも地面に横たわってしまったのだ。

この実験を主宰していたのは、神戸大学理学部教授皆川理を中心とする関西の宇宙線観測グループで、特殊な写真乾板を搭載した気球を地上3万mの成層圏にまで上昇させ、宇宙線の飛跡や宇宙線が大気中の物質と衝突して起こる核過程を記録する実験に取り組んでいた。気球を打ち上げる方法は、すでにアメリカなどで実施されていた。日本でも皆川らがゴム製の気球を用いて同様の実験を行っていたが、高度3万mの低圧・低温に耐えることができず、不十分な観測結果しか得られていなかった。

1950年代に入って高性能のポリエチレン製薄膜が容易に手に入るようになり、気球を使った宇宙線観測を大きく前進させた。この日、皆川らが打ち上げたのは、宇宙線観測のためとしては日本最初のポリエチレン製大気球であった。

## ■たび重なる失敗

翌8月27日に行われた2度目の実験は、気球の打ち上げには成功したものの、1時間も経たないうちに行方不明となり、その後兵庫県西宮市北部の山中で落下が確認された。原因はやはり気球の破損であった。高性能のポリエチレン製薄膜を型紙に合わせて切り分け、ロール（回転）式電気ゴテで貼り合わせる作業は、手作業で行われていたため、どうしても薄膜の継ぎ目に破損が生じやすかったのである。

写真乾板など、落下した観測機材の破損・故障が心配されたが、幸い実験に参加していた学生らによって、気球とともに山中から無事回収された。

## ■舞い上がった大気球

9月16日の3度目の実験。午前5時20分、皆川の合図で水素ガスの充填が始まり、6時21分に気球が放たれた。気球は、ゆっくりと六甲連山の東方に向かって上昇し、約30分後には御影分校で見守っていた関係者の視界から消えた。

実験を支援した大阪管区气象台などの位置確認によると、午前8時頃に琵琶湖北西端まで達した後、偏東風に乗って西寄りに進路を変え、午前10時頃高度約3万mに達した。実験は順調に進んでいるかに思われたが、その後、予想より北寄りの進路をとったため、気球が行方不明になってしまった。幸い、鳥取県沖の日本海で操業していた漁船が偶然拾得し、貴重なデータを記録した写真乾板は、気球打ち上げから3日後の9月19日に皆川の手元に戻った。かくして、日本最初のポリエチレン製大気球を用いた宇宙線観測は成功した。

皆川はその後にも気球を用いた宇宙線観測を続け、小柴昌俊東京大学名誉教授のノーベル賞受賞で一躍注目を浴びたスーパーカミオカンデにつながる日本の宇宙線研究に大きな足跡を残したのであった。

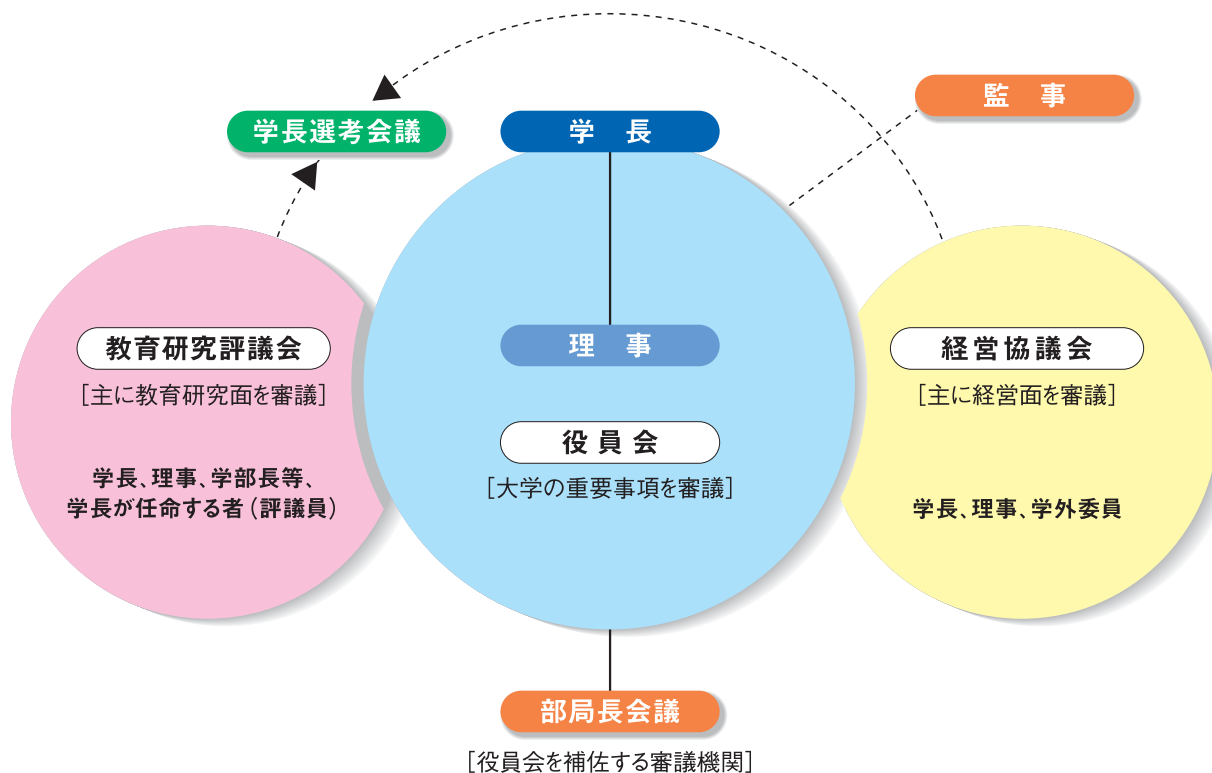
理学部助教授／原 俊雄（百年史編集委員）  
文学部助教授／河島 真（前百年史編集室員）  
協力：宮垣盛男氏、横山千秋氏

神戸大学百年史編集室は、『神戸大学百年史』の編集・刊行を行うため、1989（平成元）年に設置されました。『神戸大学百年史』（全4巻）や「神戸大学史紀要」の編集・刊行のほか、神戸大学の歴史に関する資料の保存・展示、学生向けの「神戸大学史」講義の企画などを行っています。「歴史のひとこま」では神戸大学の歴史のエピソードを紹介しています。



## 国立大学法人神戸大学 運営組織

国立大学法人神戸大学は、世界最高水準の学術研究拠点を目指して、研究・教育をはじめ、産学官民・社会連携などの面でもいっそうの充実を図っていきます。大学運営は、次の組織が責任を持って行っています。



〈お知らせ〉

「国立大学法人神戸大学の平成18年度計画」「国立大学法人神戸大学の役職員の報酬・給与等について（平成17年度）」などをホームページ (<http://www.kobe-u.ac.jp/info/disclosure/law22.htm>) で公表しています。



神戸大学のロゴマークです。平成14年の創立百周年を機につくりました。学生や教職員、卒業生などから案を募り、工学部4年生の作品が最優秀となりました。神戸のKを2羽の鳥に象徴化し、山（緑）、海（青）を渡り、自由に大空へと羽ばたいています。鳥の色は大学のシンボルカラーのブリックカラーです。

## 企画広報室から

「KOBE university STYLE」は、キャンパスライフや就職活動など学生の諸活動や、研究・教育面での最前線の動き、同窓会の状況、100年にわたる歴史のエピソードなど、神戸大学にまつわるさまざまなニュース・話題を紹介します。年2回の発行です。ご愛読ください。皆様からのさまざまなご意見、ご感想をお待ちしています。

神戸大学企画広報室 発行 2006年9月

〒657-8501 神戸市灘区六甲台町1-1 TEL/078-803-5083 E-mail/kouhoushitsu@ofc.kobe-u.ac.jp



<http://www.kobe-u.ac.jp>